

令和4年3月18日
四国電力株式会社

伊方発電所3号機 使用済燃料ピット監視カメラの不具合について

通常運転中の伊方発電所3号機（定格電気出力89万キロワット）の原子炉補助建屋内（管理区域外）において、本日、11時22分に使用済燃料ピット監視カメラ※1が正常に動作しないことを確認しました。

当該カメラの動作不能により、保安規定に定める使用済燃料ピット監視カメラ1台が動作可能な状態であることの運転上の制限を満足できなくなりました。

使用済燃料ピットについては、他の計器により監視できており、温度、水位に問題ないことを確認しています。

故障原因と推定される当該カメラのサーバについて予備品と取替えを行い、当該カメラが監視可能な状態であることを確認し、14時57分に運転上の制限の逸脱状態から復帰しました。

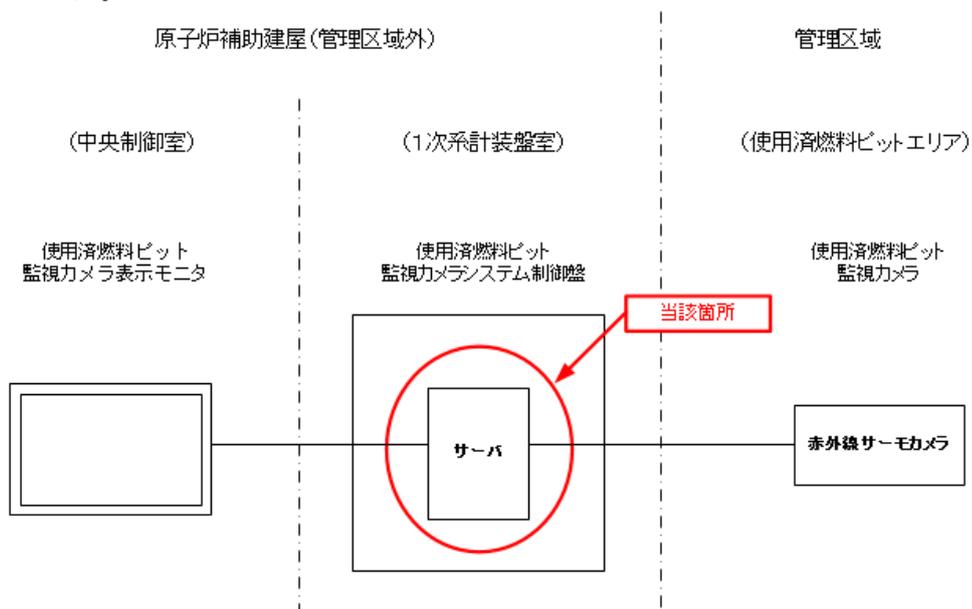
今後、原因を詳細調査します。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありません。

（参考）

※1 使用済燃料ピット監視カメラ

重大事故等が発生した場合に使用済燃料ピットエリアの温度を監視する赤外線サーモカメラ。



伊方発電所3号機使用済燃料ピット監視カメラシステム 概略図